

# ゾウの家族の絆

## 子育て

赤ちゃんゾウが産まれると、同じグループのゾウ達が集まり、鼻を使って匂いや触った感触で新しい家族を認識し迎え入れます。誕生時に体重120キロもあるゾウは産まれてすぐ群と行動できます。子供達は母親はじめ、群の大人たちに守られて育ちます。ゾウは10年くらいかけて子育てをします。オスの子供は12歳くらいで群を離れますが、メスは群に残ります。



Copyright Go YAMAGATA  
PHOTO BY: GO YAMAGATA

## 大人の役目

長年の研究から、群の年配のリーダーの存在によって各家族のメスの繁殖率と子ゾウの生存率が上がっていることが明らかになっています。これはリーダーゾウたちが自分の仲間に、地域の情報（地形、餌の在処、危険の避け方など）、仲間の情報や生きるノウハウを伝えているからです。長けたコミュニケーション能力と大量の情報処理が出来るゾウの社会は複雑で、個体同士の絆も深く、何十年もの間に築かれます。これらの情報を全て子供達は大人から教わらないと自然界では生き抜くことができません。そのため、大人が密猟で殺されると、その知識も失われ、子供の生存率も下がります。



PHOTO BY: GO YAMAGATA